

<No16 : 写真>

図 16 は、公共測量における、空中写真測量により数値地形図データを作成する場合の標準的な作業工程を示したものである。 [ア] ～ [オ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

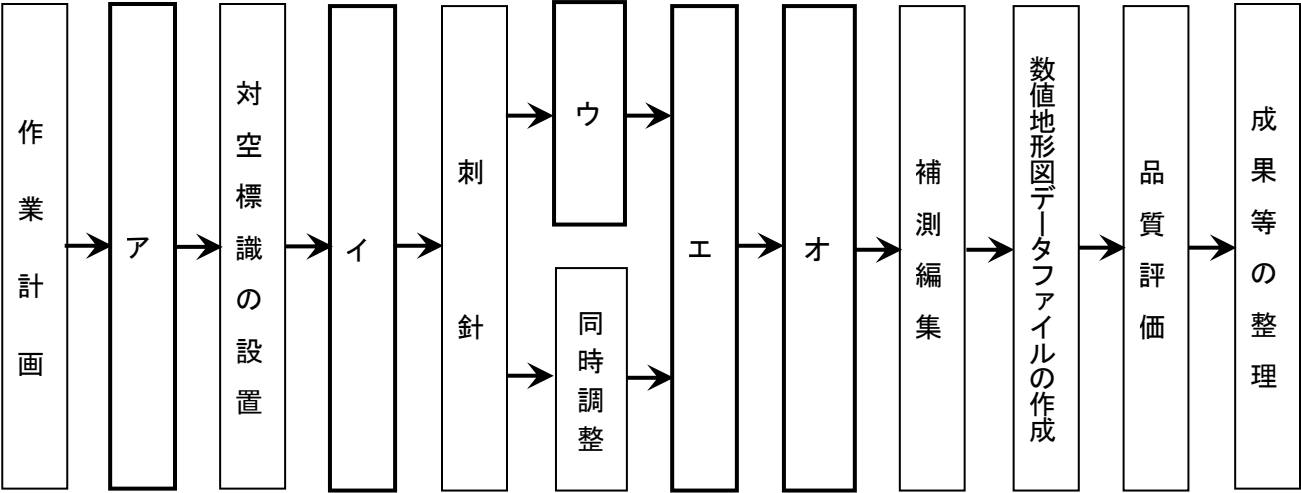


図 16

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	標定点の設置	撮影	現地調査	数値図化	数値編集
2.	標定点の設置	現地調査	撮影	数値地形モデルの作成	数値編集
3.	計測用基図作成	現地調査	撮影	数値地形モデルの作成	数値図化
4.	標定点の設置	撮影	現地調査	数値地形モデルの作成	数値図化
5.	計測用基図作成	撮影	現地調査	数値図化	数値編集

<No17 : 写真>

次の文は、同時調整におけるパスポイント及びタイポイントについて述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. パスポイントは、撮影コース方向の写真の接続を行うために用いられる。
2. パスポイントは、各写真の主点付近及び主点基線に直角な両方向の、計 3 箇所以上に配置する。
3. タイポイントは、隣接する撮影コース間の接続を行うために用いられる。
4. タイポイントは、撮影コース方向に直線上に等間隔で並ぶように配置する。
5. タイポイントは、パスポイントで兼ねて配置することができる。

<No18 : 写真>

次の a ～ d の文は、デジタルステレオ図化機の特徴について述べたものである。明らかに間違っているものは幾つあるか。次の中から選べ。

- a. デジタルステレオ図化機では、デジタル航空カメラで撮影したデジタル画像のみ使用できる。
- b. デジタルステレオ図化機では、数値地形モデルを作成することができる。
- c. デジタルステレオ図化機では、外部標定要素を用いた同時調整を行うことができる。
- d. デジタルステレオ図化機では、ステレオ視装置を介してステレオモデルを表示することができる。

- 1. 0 (間違っているものは1つもない。)
- 2. 1つ
- 3. 2つ
- 4. 3つ
- 5. 4つ

<No19 : 写真>

画面距離 7 cm 、撮像面での素子寸法 $6\mu\text{m}$ のデジタル航空カメラを用いた、数値空中写真の撮影計画を作成した。このときの撮影基準面での地上画素寸法を 18 cm とした場合、撮影高度は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、撮影基準面の標高は 0m とする。

1. 1,500 m
2. 1,700 m
3. 1,900 m
4. 2,100 m
5. 2,300 m

<No20 : 写真>

画面距離 12 cm 、撮像面での素子寸法 $12\mu\text{m}$ のデジタル航空カメラを用いて、海面からの撮影高度 2,500m で鉛直空中写真の撮影を行ったところ、一枚の数値空中写真の主点付近に画面の短辺と平行に橋が写っていた。この橋は標高 100m の地点に水平に架けられており、画面上で長さを計測したところ 1,250 画素であった。

この橋の実長は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

1. 300 m
2. 313 m
3. 325 m
4. 338 m
5. 350 m